



2022年11月9日

各位

会社名 ナカバヤシ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 湯本 秀昭
(コード：7987 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画室長 瀬島 達哉
(TEL 06-6943-5555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 29,000	百万円 400	百万円 600	百万円 250	円銭 9.13
今回修正予想（B）	28,236	△158	151	△132	△4.85
増減額（B-A）	△763	△558	△448	△382	—
増減率（%）	△2.6	—	△74.8	—	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年3月期第2四半期）	28,653	297	586	114	4.42

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 65,000	百万円 2,550	百万円 3,000	百万円 1,700	円銭 62.10

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
今回修正予想 (B)	62,000	1,500	2,000	1,350	49.28
増減額 (B-A)	△3,000	△1,050	△1,000	△350	－
増減率 (%)	△4.6	△41.2	△33.3	△20.6	－
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	63,118	1,818	2,336	1,018	39.26

修正の理由

1. 第2四半期累計期間

売上高は、コンシューマーコミュニケーション事業の売上高は目標より184百万円上回ったものの、データプリントサービスなどのビジネスプロセスソリューション事業の売上高が、独占禁止法違反による排除措置命令及び課徴金納付命令で、一部の官公庁や市町村から指名停止処分を受けたことにより予想より897百万円下回ったため、前回公表数値を下回る見込みです。利益につきましては、売上高が予想を下回ったことに加え、円安や原材料価格の高騰などにより原価率が予想よりも1.5ポイント上昇し、販売費及び一般管理費の比率も予想を0.5ポイント上回ったため、営業利益、経常利益は前回公表数値を下回る見込みです。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少も大きく、特別損失として独占禁止法関連損失を92百万円計上した結果、前回公表数値を下回る見込みです。

2. 通期業績

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は世界的なインフレの加速とインフレ抑制のための金融引き締めなどによる景気後退懸念など先行きは依然不透明な状況が予想されること、また官公庁や市町村から指名停止処分を受けたことにより当初計画から30億円の減少を見込んでおります。営業利益及び経常利益は売上高の減少に加え、円安や原材料価格の高騰及びコスト高により当初計画からの30%以上の下落が予想され、前回公表数値を下回る見込みです。

この業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上